



# ほくえい

<http://www.hokuei.obihiro.ed.jp>

令和5年3月6日

発行者 校長 池下栄里子

- 思いやりのある子
- たくましい子
- 助け合う子
- よく考える子
- 進んでやる子

## 卒業まで登校日数あと13日

今年度も残すところあとわずかとなりました。今学校では、卒業式に向けて呼びかけ等それぞれの学年の取組が進んでいます。どの学年も、北栄小学校を引っ張ってきてくれた6年生のことを思いながら取り組んでいます。また、休み時間には、6年生が大好きな低学年の子どもたちが、お兄さんお姉さんのところに来て遊んでもらっている姿もよく見かけます。6年生が低学年の子どもを可愛がることは、北栄小学校の伝統とも言えます。今年の6年生も本当に優しいお兄さんお姉さんでした。

さて、卒業を間近に控えた6年生は、先週、ジャンボ書道に挑戦しました。どの子も大変力強く、一文字に自分の思いを込めて書き上げました。

振り返ると、6年生にとっては小学校生活の半分以上がコロナ対策の日々でしたが、そんな中でも、仲間と一緒に様々なことに取り組んできた6年生。あと13日、思い残すことがないように小学校生活を楽しんでほしいと思います。



## 第3回 CS 協議会

今年度3回目のCS協議会を開催しました。まず、学校評価アンケート結果について次のようなご意見をいただきました。

○本を読まない子が多いが、読解力が落ちることが心配だ。しかし、本は強制的に読ませるものでもない。読書は慣れなので、そういう環境を学校や家庭でつくる必要があるのではないか。

○悪い言葉遣いは周りの子のやる気を削ぎかねない。言葉遣いの指導もお願いしたい。

また、来年度については、あいさつに関わる取組を継続させつつ、PTAとも連携しながら親子で楽しめるイベントも考えていきたいと考えています。

## 素敵なお花をありがとうございます

ボランティアとして、いつも玄関にお花を飾ってくださっているのは、MOA美術文化インストラクターの さんです。きれいなお花が私たちの心を和ませてくれています。



広瀬容孝教育長と松浦尚人教諭 (右)

**松浦尚人教諭**  
**帯広市教育研究実践表彰**

この度、本校の松浦尚人教諭が、帯広市教育研究実践表彰を受けました。

松浦教諭は、令和三、四年度には、北海道教育委員会から委任された授業改善推進委員として、市内全小中学校でのタブレット端末活用研修や冬期教員研修講座の講師として活動しました。また、市内全小中学校に出向き、端末を活用したモデル授業の実践や指導、助言を通して、教職員のICTを活用した授業力向上に取り組むなど、多岐にわたり活躍してきました。

令和二年度から現在に至るまでは、帯広市教育研究所員として、各種デジタル教材(バーチャル鍵ハ・ドレミア、月の満ち欠けモデル、かけざんマスタークハチジュウイチなど)の開発や、児童生徒情報管理ツール「オヒリス」の開発を通して、児童の資質・能力の向上並びに教職員の仕事改革の推進にも寄与してきました。